



2024 青葉音楽百景

生まれ変わった青葉区民音楽祭

入場無料

『何度もコンペに落ちたプレゼン企画がある日突然採用される：手にマメを作り何度も挑戦してきた変化球がある日突然投げられるようになる：』思い描いてきた夢が叶うハッピーエンドストーリーは、ドラマや映画の中ではありきたりのストーリー展開だが、今回のストーリーは、現実のものとなった。

青葉区の誕生と同時に『青葉区民音楽祭』は始まった。当初は区内で楽器を愛好する団体が集まって、短い持ち時間で発表会を行っていた。(ジャンルは様々で、和楽器、ハーモニカ、マンドリン合奏、室内楽、打楽器アンサンブル、吹奏楽、オーケストラ、等々)名前は区民音楽祭と大それたものだったが、集客は惨憺たるも

のだった。この音楽祭を企画する『器楽部会』は、試行錯誤の末一つの結論を出した。各団体の音楽ジャンル(楽器のジャンルも含め)が多岐にわたる為集客が困難であるということだ。そこで登場したのが『青葉音楽百景』である。この企画は、それぞれの団体の音楽を十分楽しめる時間を取って、音楽祭の枠を超えて各団体の演奏会を一定期間内で一つの帯としてまとめたものである。(当初この『青葉音楽百景』こそが『青葉区民音楽祭』と違って発案されたが…)

その結果、集客は3倍になった。しかし音楽祭の枠組みから外れ単独の演奏会をする団体は、音楽祭でのスタッフ協力がメインとなり疎

外感の有る扱いを受けるようになった。かくして区制30周年を迎えた今年、長年の夢が叶う青天の霹靂が起こった。一定の制限はあるものの単独団体の演奏会であっても、器楽部会員が毎年9月〜12月に区内で行う全ての演奏会を総称して『青葉区民音楽祭』とするこ

とが突然認められた。今年この区民音楽祭は3日間行われる(各記事参照)。部会員においては新しい音楽祭の始まりと青葉区の文化の発展に係わるコミュニケーションとしての一歩を、一致団結して歩み出すことになることだろう。小紙では、各団体の演奏会情報の他30周年に際してのコラムが掲載されている。

30周年を迎えた「青葉区民音楽祭」中島隆雄 青葉区長より、「祝辞をいただきました」



青葉区長 中島隆雄

青葉区の誕生とともに始まり、毎年秋に行われてきた「青葉区民音楽祭」が今年も11月に開催されます。

青葉区は11月6日に区制30周年を迎えます。「未来へつなごう 青葉の魅力」をキャッチフレーズに地域の皆様と30周年をお祝いできることを大変嬉しく思っております。

区内では様々な文化芸術活動が盛んに行われており、青葉区の魅力の一つになっていると実感しております。区民音楽祭では器楽団体が奏でる様々なジャンルの音楽を気軽に楽しむことができます。多くの方に青葉公会堂にお越しいただき、「青葉の魅力」を感じるひとときをお過ごしいただければ幸いです。

結びに、音楽活動を通じて青葉区の文化・芸術の振興にご尽力いただいている器楽部会の皆様に心からの敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます。

オープニングコンサート

第39回横浜緑吹奏楽団定期演奏会

9月8日(日) 13時開演 青葉公会堂 【入場無料】

おとほ音楽まつり

第一部 クラシカルステージ 歌劇カルメンより、レ・ミゼラブル、他
第二部 企画ステージ ～スナック みどり～

『緑と青の音色』 横浜緑吹奏楽団は、40年前緑区で初音をあげた。谷本中学校のOBが中心となって結成された地域密着型のアマチュア楽団である。当時この地域は、横浜市緑区の所管であった。そして30年前緑区は3つに分区され、緑区、青葉区、都筑区の3区が誕生した。



「ここまで書けば、察しの良い人は何が言いたいかはもうお分かりだろう。そう、この分区分で青葉区を中心に活動する緑吹奏楽団という、なんとも中途半端なネーミングの楽団が誕生してしまったのだ。 当時は、我々を青葉吹奏楽団と呼ぶ人も少なくなかった。団内の宴席では「いっそ、青緑吹奏楽団に改名するかあ」とか「いや青緑はダサいからエメラルド吹奏楽団にするかあ」となんて会話は、何度となく酒肴になった。 最近では、間違える人もあまりいなくなつたので緑吹奏楽団が定着してきた感はあるが、こたわるのは名前の色ではなく、音の色「音色」で有りたいと思うのである。

メインコンサート

2024青葉区民音楽祭 (詳細は次頁)

11月10日(日) 11時～16時45分 青葉公会堂【入場無料】

出演 ①リコーダーコンソート青葉 ②横浜アコーディオン愛好会 ③奈良北オカリナクラブ ④マリンBAマリン ⑤Plumeria ⑥青葉台ジョイフルフレンズ・ハーモニカ

ファイナルコンサート

第13回緑交響楽団ファミリーコンサート

12月22日(日) 14時開演 青葉公会堂 【入場無料】

指揮 平田 聡明 ※teketによる事前申込制(指定席)

第一部 「カルメン」より前奏曲、ワルツィング・キャット、「アナと雪の女王」メドレー、他
第二部 舞踏会の美女、指揮者体験コーナー、クリスマスメドレー、他

緑交響楽団は1984年横浜市緑区(分区分)でスタートし、今年6月創立40周年、団員約60名の団体です。年2回の定期演奏会、ファミリーコンサートを軸に休日音楽家を目指す。 青葉区誕生時から現在に至るまで、機会あるごとに青葉区のイベントにも参加しています。 ① 青葉区誕生記念青葉区民音楽祭(1994年10月8日フイリアホール) ② 青葉区民みなどみらいコンサート(1998年9月23日みなどみらいホール完成時) ③ ファミリーコンサート(青葉公会堂) 2002年1月14日の第1回から数えて今回で13回目となります。 定期演奏会は小さなお子さんの入場を制限、或いは会場の大きさ等の関係で、みなどみらいホール、県立音楽堂、鎌倉芸術館等、青葉区から離れますが、ファミリーコンサートは小さなお子さん大歓迎でクラシック音楽を地域の皆さんに身近に親しんでいただきたいと、青葉公会堂にて今後とも開催する予定です。



器楽部会 会議光景

【器楽部会とは】 青葉区民芸術祭運営委員会の中で、器楽合奏をする団体の集まり。(他に、コーラスのついでに、芸能祭・作品展などがある) 毎年11月に開催される区民音楽祭を中心に、9月から12月に行われる所属団体の演奏会を「青葉区民音楽祭」と称し、企画運営や冊子の発行を行っている。

⑤ インドネシア竹製民族楽器 アンサンブル **Plumeria**

青葉区が誕生した時、私は小学生でした。学校行事として、真新しい青葉公会堂で開催された第一回目の区の音楽会で、合唱とリコーダーの演奏をした記憶が蘇って来ました。中学、高校と青葉区内の学校で吹奏楽部の練習に明け暮れた日々、そして大人になってからの縁で、青葉区民芸術祭器楽部会を紹介いただき、2019年から地元青葉区で、毎年こうして青葉区民音楽祭で演奏出来る事を嬉しく思います。

大学時代に出席した、インドネシアの竹製民族楽器アンサンブル。日本ではあまり知られていない楽器ですが、「竹」で出来ていてカラカラと涼しげな音色でどこか懐かしい、素朴な音色が魅力的です。音楽祭に出演することで新たな縁で演奏の機会を頂いたり、一緒に竹楽器を演奏したいという運命的な出会いもありました。これからも、青葉区と共に音楽ライフを楽しんでいきたいと思っております。そしてインドネシアの竹楽器をたくさんの方に聴いていただける機会が増えるといいなと願っています。

インドネシアの曲をはじめ、日本の歌謡曲、クラシック、映画音楽、JAZZやラテン、アニメーション等多岐にわたるジャンルに挑戦しています。演奏依頼やワークショップ随時承ります！



演奏曲 天城越え
くろみ割り人形より
インドネシア民謡 他

2007年インドネシア在住経験者を中心に結成、ユネスコ無形文化遺産のアンクルンをはじめガンパン(竹琴)など、インドネシアの竹製民族楽器を奏でるアンサンブルグループです。横浜青年館(南区)を練習拠点に活動しています。日本各地やインドネシアでのイベント、福祉施設、在日インドネシア大使館主催セレモニー等での演奏多数。

⑥ 青葉台ジョイフルフレンズ・ハーモニカ

青葉区制が始まった翌年の1995年は、青葉台ジョイフルフレンズ・ハーモニカが国際ハーモニカコンテストで準優勝を勝ち取った記念すべき年でした。ハーモニカの重鎮の故崎重昭先生が1982年に3名で我がサークルを設立してから13年目の快挙でした。

その後は順風満帆ではなく、会員が激減した時には解散の危機に直面しましたが、2002年に大内友哉先生を指導者に迎え新生サークルとして発展し、現在に至っています。

青葉区民音楽祭や青葉コミュニティハウス等の公共施設でのボランティアに積極的に演奏参加しています。特に区民音楽祭では、特別参加のBOMxBoa(大内友哉 初美夫妻のハーモニカデュオ)の超絶技巧の演奏が大人気で、聴きに來られる方がたくさんいらっしゃいます。

練習日は毎週火曜日午後、クラシック、歌謡曲、ポピュラーを13名で楽しんでいます。

今年は外国の歌を選曲しました。ヨーロッパ、南アメリカ、ロシアからシャンソン、タンゴ、ロシア民謡などをお楽しみください。



演奏曲 オー・シャンゼリゼ
エル・チョコロ
ロシア民謡メドレー
ラ・クンパルシータ 他

創立42年目の歴史あるハーモニカサークルです。青葉区民音楽祭の他、「かわさきハーモニカの集い」や区内ボランティア演奏にも参加。BOMxBOAの大内先生のご指導で美しい音色の四重奏を目指し、毎週火曜日に青葉台、藤が丘等の公共施設で楽しく練習をしています。新規会員を募集中です。気軽に見学に来て下さい。

⑥ 特別参加 ハーモニカデュオ Bom x Boa

今年も青葉区民音楽祭に大内友哉、井上初美のハーモニカユニット Bom x Boa (ボン・ボア)の演奏があります。ラストの青葉台ジョイフルフレンズ・ハーモニカのゲストで花を添えてもらいます。

いろいろな種類のハーモニカを使いこなした演奏スタイルは、2人ながら音の厚みを感じさせ、その卓越した技術には定評があります。ボン・ボアの超絶技巧をライブで体験すればハーモニカのイメージが一変すること請け合いです。演奏曲目は「トリッチトラッチポルカ」、「ジブリメドレー」、他。

アップリールV
ハーモニカの演奏と指導の第一人者でもある故崎重昭氏に師事。2002年にデュオを結成し、アジア太平洋ハーモニカ大会デュオ部門金賞。2006年キングレコードよりメジャーデビュー、数々のテレビやラジオに出演。海外や日本全国各地でコンサートやセミナー開催の他、YouTubeやオンラインレッスンなど新しい局面にも挑戦し続けている。結成20周年に新しいアルバム「アルバム」をリリースした。これは多数のオリジナル曲を収録、ハーモニカアンサンブルの新しい扉を開いた。



Bom x Boa

YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/user/BomxBoa/>

青葉区民音楽祭
メインコンサート
2024年11月10日(日)
会場:青葉公会堂

10:45	開場
11:00~11:45	① リコーダーコンサート青葉
11:45~12:00	休憩・舞台転換
12:00~12:45	② 横浜アコーディオン愛好会
12:45~13:00	休憩・舞台転換
13:00~13:45	③ 奈良北オカリナクラブ
13:45~14:00	休憩・舞台転換
14:00~14:45	④ マリンBAマリン
14:45~15:00	休憩・舞台転換
15:00~15:45	⑤ Plumeria
15:45~16:00	休憩・舞台転換
16:00~16:45	⑥ 青葉台ジョイフルフレンズ・ハーモニカ

タイムテーブル

【入場無料】

演奏会の注意事項

- 公演プログラムは予告なしに変更する場合があります。
- ※ 上記事項の問合せは、「器楽部会団体問合せ先」の各団体までお願いいたします。

④ マリンBAアンサンブルグループ マリンBAマリン

「音楽を通じて、これからも青葉区とともに」
今年も青葉区誕生30周年というお祝いの年です。おめでとうございます！
その名の通り、緑豊かで心安らく、とても住みやすい街である青葉区。それと同時に、田園都市線が通り、都市部へのアクセスも良く、洗練された街であり、芸術にも力を入れている文化的な街でもあります。青葉区誕生の年から始まっている青葉区民芸術祭。その中の器楽部門である「青葉区民音楽祭」に出演できることを私たちマリンBAマリンは嬉しく誇りに感じています。また、音楽を通して他の団体と交流できることも楽しみの一つです。演奏を通じて、少しでも皆様に喜んでいただくと、それがパワーや元氣となり、私たちの励みとなります。今年には特に、30周年という節目の年にステージに立たせていただけることは光栄で、ワクワクしています！
私たちマリンBAマリンは活動を始めてまだ18年目ですが30周年を目指し、これからも青葉区を中心に活動を続け、マリンBAの美しい音色と癒しの時間を皆様にお届けできたら幸いです。

今年のマリンBAマリンのテーマは「踊り」です。前半はオペラやバレエなどの歌劇を中心に皆様ご存知の名曲を集めました。また、後半ではポップで軽快で踊り出したくなるような曲を演奏します。



演奏曲 椿姫より「乾杯の歌」
アイダより「凱旋行進曲」
くろみ割り人形 他

「見て聴いて楽しい！演奏してもっと楽しい!!」をモットーに、青葉区を中心に活動しているマリンBA アンサンブルグループです。メンバー随時募集中♪ マリンBAが好き！演奏してみたい！という気持ちがあればどなたでも大歓迎♪

① リコーダーコンサート青葉

青葉区とリコーダーコンサート青葉
青葉区発足30年、おめでとうございます。私達リコーダー合奏団「青葉」も、青葉区が出来た時に結成されましたので、今年3月に30周年記念コンサートが無事に終えました。

設立時に私達の先生がおっしゃった「一枚一枚の違う緑色の葉が一本の木を作り、様々な色合いの木々が大きな一つの森を成すように、私達も一人一人の個性豊かな色合いの音で、一つの大きな響きや音楽を皆で一緒に作っていきましょう」という言葉は忘れることができません。

当時からメンバーは私だけになってしまいました。ですが、私はこの合奏団との楽しい結びつきを断念できず、7年前から長野県人になった今もまだ、新幹線や車で青葉区の練習会場に通っています。私にとって移住前に住んでいた青葉区は、今でもたくさんの大切な思い出の詰まった故郷です。

定期演奏会の情報や活動の詳細はホームページで、演奏の一部はYouTubeでご覧いただけます。どちらも「リコーダー青葉」で検索してください。



演奏曲 リバルタンゴ
愛の挨拶
ありがとう 他

1994年、渡辺清美先生のもとに8名で結成されてから、今や約20名のリコーダーオーケストラになりました。青葉区を拠点とし、月2回の練習で磨いたアンサンブルを、定期演奏会、ボランティアなどで披露しています。

② 横浜アコーディオン愛好会

「探求 右手と左手の「迷宮」」
アコーディオンの音色を通じて音楽の世界ミステリーツアーを楽しんでいただきます。今年はこの国を訪れるか楽しみにしてください。

「探求 右手と左手の「迷宮」」
青葉区民音楽祭に、2013年から参加して11年になります。たまプラーザテラスでの演奏、ホールでの演奏で毎年夏から秋にかけて忙しい時期を過ごしていましたが、コロナ禍の影響で、たまプラーザテラスでの演奏がなくなり、淋しい思いをしています。外での演奏も復活出来れば良いなと思っています。最近では、私たちの演奏を老人介護施設や、老人会の方が聴いて下さって、施設での演奏依頼が復活して活気が戻ってきているように感じています。

アコーディオンは、右手は鍵盤でメロディーを弾き、左のボタンを押して伴奏をつけます。身体を使って風を送り、両手、指を使って鍵盤、ボタンを押す、頭の体操もします。体力維持、認知症予防にもなります。

一興味を持たれた方ぜひ、ご連絡ください。初心者が先生が丁寧に教えます。一緒にアコーディオンを楽しみましょう！

アコーディオンの音色を通じて音楽の世界ミステリーツアーを楽しんでいただきます。今年はこの国を訪れるか楽しみにしてください。



演奏曲 80日間世界一周
バラのタンゴ
タブー
ボエヴェおじさんの讚美歌
別れのブルース 他

1967年1月に結成、創立57周年になり歴史を持つ会です。アコーディオンは独奏のみならず合奏や歌の伴奏にも取り組み、各区の区民活動センターなどのイベント参加を通じてアコーディオンの懐かしい音色を届けています。

③ 奈良北オカリナクラブ

奈良北オカリナクラブ(NOC)は青葉区と同じく、今年結成30年を迎えました。発足時は奈良北団地住民7名でしたが今は28名になり神奈川県内で演奏活動を行っています。今年3月20日に青葉台フイリアホールに於いて「奈良北オカリナクラブ30周年記念コンサート」を開催しました。テーマは「D.C.ニューカマー」あらたに「...」いくつになっても？心新たに進もう！という事です。

コンサートの運営は実行委員会を作り、NOC全員が事務局、構成、楽屋、受付、会計、衣装の各部署に所属して、みんなで話し合い、ほぼ1年前から準備を進めました。演奏曲目も、吹きたい曲をメンバーにアンケートを行って選び、グループ演奏では皆が希望曲を演奏します。それだけに熱が入ります！
コンサートを観て聴いて楽しんだけれど、最初は漠然としたイメージしか湧きませんでした。最初は漠然とした内容が決まっていたけれど、ああもしたい、こうもしたい、膨らんできました。

今回のコンサートでは演奏は勿論、それ以外のパフォーマンスでも楽しんで頂けた事と信じています。また今回は28名NOC全員が参加できたことが何より嬉しいことでした。

前半は、30年前の発足時から演奏しているテーマ曲「若者たち」と秋の曲を特集。後半は、色々なジャンルから、大編成ならではのサウンドをお楽しみください。



演奏曲 若者たち、栄光の架橋
誰もいない海、風立ちぬ
ビートルズ・メドレー
美しく青きドナウ 他

1995年青葉区奈良北団地在住のメンバーにより発足。今年で30年目を迎えた同好会です。「楽しくオカリナを吹こう」をモットーに、オカリナの持つ素朴で暖かな音色を大切にしながらクラシックからジャズまで幅広いジャンルの曲目を演奏しています。

▼区制30周年を迎える間に、器楽部会や音楽祭のかたちも変遷を繰り返してきました。これは2012年が初の発行で、今年で13回目の発行を迎える『青葉音楽百景』も同様です。写真を見てもわかるように、少しでも魅力的な冊子になるようにと、デザイン構成から各記事の内容に至るまで、皆で知恵を絞って考えられてきました。これらを読んでいるだけで、これまでの部会員の努力の結晶と、青葉区と器楽部会が共に紡いできた歴史を垣間見ることができるとおもいます。▼事務局からみても、器楽部会の会議は毎回活気が溢れています。時には会議が紛糾し、圧倒されそうなこともあるのはここだけの話ですが、それは皆の音楽に対する愛と情熱由に他ならないのではないのでしょうか。現在発行しているこの手作りの紙面を手にとっていただき、また音楽祭に足を運んでいただければ、その想いは皆様にも十分に感じ取っていただけることと思います。▼余談になりますが、器楽部会の事務局の担当職員は、当初楽器は全くの未経験でしたが、器楽部会の担当になったことがきっかけで、昨年新しくピアノを習いはじめ、今では定期的に発表会に出る程にその魅力の虜になっています。このような、思わぬ縁や新しい自分の発見につながる不思議な力も、青葉区の音楽祭にはあるのかもしれない。▼30年間の歩みをこれからも止めることなく、支えてくださる関係者の皆様への感謝を忘れずに、事務局として青葉区の音楽シーンを盛り上げていく一端を担っていければ幸いです。



青葉音楽百景 参加公演

創立40周年記念
緑交響楽団
第72回定期演奏会

9月29日(日)
13:15開場 14:00開演
会場:鎌倉芸術館 大ホール
※ 入場料 1,000円(自由席)
※ teket による事前申し込み制

演奏曲
ブラームス 大学祝典序曲
ブルッフ ヴァイオリン協奏曲第1番
ソリスト 白井 篤(N響)
ラフマニノフ 交響曲第2番
指揮 和田 一樹

緑交響楽団は6月に創立40周年を迎え、これを記念して第72回の定期演奏会を開催します。会場は鎌倉芸術館です。



奈良北オカリナクラブ
小池 交子

▼今朝も空が白みはじめる頃、ふと目が覚めた。外では鳥のさえずりが聞こえる。一本調子でなく、ラソラ！ラソラ！と一定のリズム。もう朝だよーの挨拶か。川のせせらぎや風の音など、自然の中に身を委ねて聞こえてくる音には、心の安らぎを覚える。▼私が愛好しているオカリナは粘土で形成し焼いて作る楽器で土笛の一種なので、その音色は素朴で温かく、心に深く浸み入り心地良い。そんなオカリナに魅せられ地域の友達たちに声掛けして結成したオカリナクラブも青葉区と同じく30年目を迎えた。▼結成ほどなくして太鼓集団鼓粋と共に立ち上げた「あおばチャリティーコンサート(ACC)」は、私たちが演奏することで少しでも福祉の役に立ちたいという想いから始められた。青葉区役所地域振興課と福祉保健課の協力を得ながら、チャリティー参加費(チケット売上)と企業や個人からの協賛金を合わせ、収益金を青葉区内の福祉施設へ寄付金として届けている。▼ACCは「明るいあおばをあなたの愛で」を合言葉に、年一回青葉公会堂において開催され、今年6月に第27回が無事終了した。志を同じくする音楽関係団体と共にステージに立ち、来場のお客様と一体となって音楽を楽しむこの時間は、例えようもなく嬉しく楽しい。コンサート最後の寄付金贈呈式で、寄付先の皆様からの喜びの声を聞くと、それまでの努力が報われた気持ちにもなる。▼私達のACC以外にも、いくつもチャリティーコンサートは行われている。音楽を楽しみながら社会貢献も行えるチャリティーコンサート、どこかで目にされることがあったらぜひ参加鑑賞してみてください。



器楽部会 団体問合せ先 ※順不同

団体名	連絡先情報
♪緑交響楽団	URL https://midorisymphony.wixsite.com/midori/
♪横浜緑吹奏楽団	URL http://ryokusui.net
♪青葉台ジョイフルフレンズ・ハーモニカ	E-Mail h-higuchi@nth.biglobe.ne.jp
	TEL 045-903-2501(樋口)
♪マリンBAマリン	URL http://marinbamarin.web.fc2.com
	E-Mail marin_ba_marin@yahoo.co.jp
	TEL 045-981-7467(藤原音楽教室)
♪横浜アコーディオン愛好会	E-Mail tsuka@mrg.biglobe.ne.jp
	TEL&FAX 044-877-9871
♪Plumeria	E-Mail plumeria.angklung@gmail.com
	URL https://www.facebook.com/plumeria.angklung/
♪奈良北オカリナクラブ	E-Mail bone-k@kfx.biglobe.ne.jp
	TEL 090-3543-4302(内田)
♪リコーダーコンソート青葉	E-Mail recaoba@gmail.com

器楽部会 会員募集

青葉区内で活動する器楽団体です♪ 私たちと一緒に活動しませんか？ 詳しくは検索！



♪企画・編集・発行/青葉区民芸術祭運営委員会 器楽部会
♪デザイン・DTP/奈良北オカリナクラブ 小川忠史・(株)廣田商事
♪事務局/青葉区役所地域振興課 TEL:045-978-2295

主催/青葉区民芸術祭運営委員会 共催/青葉区役所

